

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

三重県漁業無線局が閉局 —84年の歴史に幕—

3月31日、長年にわたり漁船の操業安全や船と陸との各種情報通信に貢献してきた三重県漁業無線局（志摩市浜島町）が閉局となった。最後の運営日となった31日には、当無線局職員10名全員の出席のもと、閉局式が執り行われ、三重県超短波無線漁業協同組合の浅井利一組合長と三重県農林水産部の藤吉俊彦次長が挨拶し、長年の労苦に対して謝辞を述べ、浅井組合長より職員一人一人に花束が手渡された。

最後に同無線局の伊藤恭市局長から挨拶があり「皆さんからのおかげで重責を果たせることができた。職員の皆さんも大変おつかれさまでした」とお礼を述べ、長い歴史に幕を閉じた。



(浅井組合長から職員に花束贈呈)



(隣接の県水産研究所の職員も多数詰め掛けた)

第37回全国海の子絵画展表彰式 【三重県】農林水産大臣賞を受賞



3月26日、第37回全国海の子絵画展表彰式が東京・コープビルで開催された。10月に行われた同審査会には「三重県海の子作品展」で入選した小中学生合わせて10作品が推薦されていたが、中学生の部で、農林水産大臣賞に「地曳網」大川夢叶（おおかわゆめか）さん（鳥羽市立鳥羽東中学校1年・当時）が見事選ばれた。

表彰式では、緊張しながらも誇らしげに賞状を受け取った子供たちが嬉しそうに家族と喜びを分かち合っていた。



「地曳網」大川夢叶さん作

**美杉なあなあエクスカーショ
ン
(植樹活動)へ参加
—3/28(土)於津市美杉町—**



3月28日、映画「WOOD JOB 神去なあなあ日常」の舞台となった津市美杉町上多気で、「22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会(委員長:小浦嘉門氏)」が主催する植樹活動(協力:三重漁連)が開催された。22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会とは、伊勢湾流域の漂着ゴミの問題に対し、東海流域の環境団体が協力し、行動するプロジェクトであり、これまでも各地で漂着ゴミの清掃等の活動を行っている。当日は、天候にも恵まれて、県内の漁業者、漁協職員、水産関係団体職員28名を含む総勢250名が集まり、中勢森林組合職員の指導のもと、ヤマザクラ、ヤマモミジ合計100本を植樹した。植樹作業後は、多気体育館に移動し、昼食後、森林の現状についてや愛知県・岐阜県の環境保全活動報告を受け、参加者でグループ別に分かれて意見交換を行った。

ご参加、ご協力いただいた皆様には紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

**第5回 錦ぶりまつり開催
—3/28(土)於大紀町錦第二魚市場—**



3月28日、大紀町錦地区の錦第二魚市場において、第5回『錦ぶりまつり』が開催され、新鮮な海の幸を買い求める3,000人の来場者でにぎわった。

当日は、錦漁港で水揚げされた新鮮なブリのほか、サザエや干物、マダイの加工品、ぶりべっこうちらしなど旬の産品を安価で食べてもらうため、同地区の漁業者らが実行委員会をつくり、地元の魚の魅力を余すことなくPRしていた。

また会場では、先着300名様に、ブリの刺身やひろめ汁の振る舞いもあり、来場者の人気を集めた。

【主な予定】

- 4月18日
平成27年県民の日記念行事
(於 三重県総合文化センター)
- 4月25日～7月31日
平成27年度霧海難防止強調運動

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。